

オフィシャルイベント

第48回 日本賞 教育コンテンツ国際コンクール



会 期：2021年11月4日(木)～9日(火)
会 場：With Harajuku Hall
主 催：NHK
対 象：国内外の放送局、教育コンテンツ制作者、研究者、教育に関心のあるすべての方
公式サイト URL：https://www.nhk.or.jp/jp-prize

総来場者数(参加数)：1,228人(オンライン参加含む)
出品参加国と地域数：48の国と地域

■開催内容

日本賞はNHKが主催する教育コンテンツの国際コンクールである。1965年の創設以来、メディアの力を信じ教育の可能性を広げる優れた作品に、賞を贈り続けてきている。また世界の制作者や研究者、教育に関心のあるすべての人をつなぐプラットフォームとして、さまざまなトークセッションや上映会などのイベントを開催している。

新型コロナウイルスの脅威と今も世界中が闘っているなか、今年日本賞は昨年に引き続き、オンラインと公開イベントをあわせたハイブリッド形式で開催した。今年は厳しい状況のなか、世界48の国と地域から267件の応募があった。長引くコロナ禍の生活による若者への影響を描く作品、地球環境の危機を訴える作品、世界中に広まる多様性尊重の動きを映し出す作品が多く寄せられ、最終日11月9日に行われたオンライン授賞式では、11の賞が贈られた。

会期中はさまざまな上映会で、制作者のインタビューとあわせて作品を紹介した他、東京2020オリンピック・スケートボード女子銅メダリストのスカイ・ブラウンさんによる「キーノート・セッション」、「デジタルメディアが生み出す未来と課題」、「10代と考える“映像は社会を動かせるか？”」などさまざまなトークセッションを開催した。

受賞作品

- ★グランプリ日本賞：グレッタひとりぼっちの挑戦(スウェーデン、アメリカ、ドイツ、イギリス)
- ★幼児向け部門最優秀賞(総務大臣賞)：あたまの上にあるものなーに？(イギリス)
- ★児童向け部門最優秀賞(文部科学大臣賞)：トーキング・ヘッズ シーズン2(オランダ)
- ★青少年向け部門最優秀賞(外務大臣賞)：グレッタひとりぼっちの挑戦(スウェーデン、アメリカ、ドイツ、イギリス)
- ★一般向け部門最優秀賞(東京都知事賞)：ヴァイラル 私たちのパンデミック日記(ドイツ、イスラエル)
- ★デジタルメディア部門最優秀賞(経済産業大臣賞)：ミッションUS：祖国によって強制収容された人々(アメリカ)
- ★特別賞・国際交流基金理事長賞：ヨーロッパへの旅路(ギリシャ)
- ★特別賞・ユニセフ賞：弾丸に縛られた夢(フィリピン、アメリカ、インドネシア)
- ★特別賞・SDGs賞：美容業界の醜い真実(シンガポール)
- ★企画部門最優秀賞(放送文化基金賞)：レインボーフラワー こどもたちが描く未来の学校(エクアドル)
- ★企画部門優秀賞(日本ユネスコ協会連盟賞)：みんなで声をあげよう 性暴力についての沈黙を破るために(バングラデシュ)

■2021年度の新規取り組みとその成果・特色など

- ・海外からお客様を招聘できない中で開催された今年、作品の紹介とあわせて制作者が作品に込めた思いを伺って参加者と共有したく、全ファイナリスト作品の制作者に事前にオンラインインタビューを行った。それぞれの作品の制作意図、制作上の苦勞そして突破口、視聴者へのメッセージについて語っていただき、日本語字幕を付けて、ホームページに掲載し、上映会で紹介した。作品の制作者の声を聞くことができる貴重な機会と評価をいただいた。
- ・日本賞のすべてのファイナリスト作品と制作者インタビューが視聴できるオンデマンド動画視聴サイトを会期開始から2週間(11/4～17)、期間限定で公開した。またトークセッションや上映会をリアルタイムでご覧いただけなかった方のために見逃し動画も掲載し、多くの方にご利用いただいた。



オンライン授賞式
司会のハリー杉山さん、中山アナと
世界11か国の本審査委員の皆さんと受賞者の皆さん



受賞者に贈られる賞牌の一部

第48回 日本賞 教育コンテンツ国際コンクール



■他イベントや非コンテンツ企業との連携事例などの実施事例、件数・成果

秋の大会期間に限らず、日本賞では通年でオンラインイベントを積極的に開催し、これまで主に制作者が中心だった参加者層を、国内の教育関係者や青少年層に広げている。オンラインイベントでは、国内外の制作者や教育関係者、一般の方にもご登壇・ご参加いただき、多様性やメディア・映像の力について考える機会となっている。また他団体主催イベントとのコラボで多様性を扱う日本賞作品の上映・紹介を行っている。

- ◆日本賞カンファレンス「身近なところから多様性を〜人気番組の舞台裏で悩み、考えたこと〜」
4月28日(水)
- ◆日本賞カンファレンス「子どもに伝えるダイバーシティ〜」
6月18日(金)
- ◆日本賞クラスルーム「映像は社会を動かせるか?〜SDGs映像企画に挑戦するオンラインサマーキャンプ〜」
8月19日(木)、20日(金)
- ◆「金沢プライドウィーク2021」参加
「LGBTQ+映画上映会 x 金沢大学SELF」で日本賞作品「ファースト・デイ」の上映&登壇
9月23日(木)
- ◆SDGsイベント「未来へ17action〜渋谷ではじめよう〜」参加
日本賞プレゼンツ「世界の制作者と語る〜人気番組に見るダイバーシティ〜」スペシャルトーク
11月22日(月)
- ◆「ソフィア・ダイバーシティ・ウィーク2021」参加
「特別企画：『マイノリティ』と『マジョリティ』の共生社会」で日本賞作品「人種差別と闘った中学校の三週間」の上映&登壇
12月2日(木)



グランプリ受賞作品「グレタ ひとりぼっちの挑戦」



「グレタ ひとりぼっちの挑戦」の制作者



キーノート・セッション
「スカイ・ブラウンさんに聞く“自分らしく生きること”」



世界 48 の国と地域から 267 本の応募
今年はコロナ、地球環境、多様性を扱う作品が多数